

SKYMENU Cloud 活用授業 実践レポート

お名前	桑原有輝	学校名	天草市立河浦小学校（熊本県）
実施学年	5年	教科	社会
单元名	日本の工業生産の今と未来		

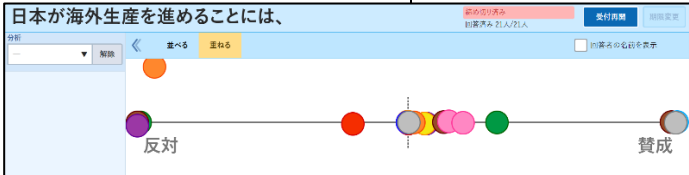
《学びを深めたいポイント》

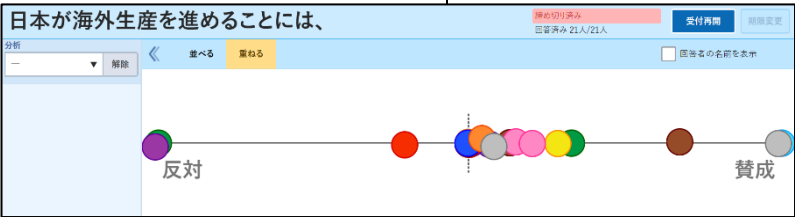
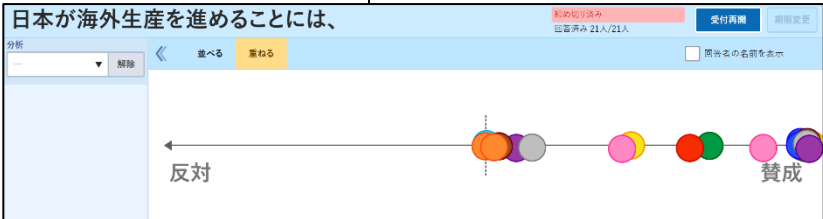
- ・ポジショニングを活用し、自分の立場を明確にしながら学習を進めることができるようにする。
- ・課題解決に向かうための資料を自分で取捨選択し、調べ学習を行うことができるようにする。

《SKYMENU Cloud 活用のポイント》

- ・本時では、「日本が海外生産を進めることに賛成か反対か」という立場を導入、展開、終末と3回のポジショニングを行い、自分の考えの変容を見ることができるようにする。
- ・（2022年11月当時）発表ノートを配付すると、児童が開いている発表ノートの最後に配付できる仕様だったので、教師のタイミングで（まとめるシートや資料）配付し、課題解決に向かうことができるようにする。

《実践内容》

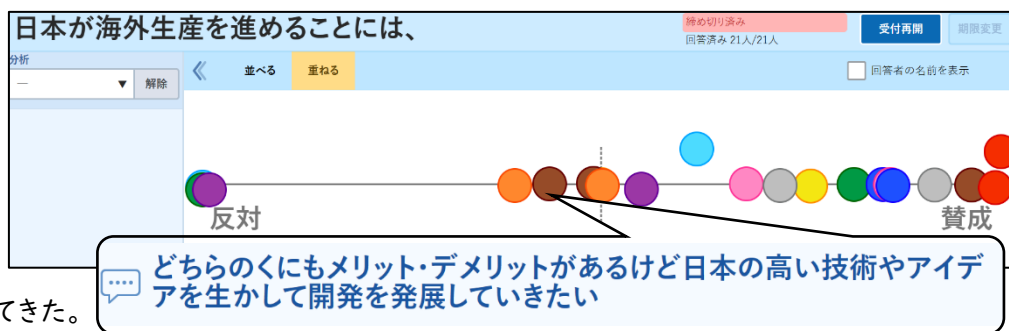
	学習活動	SKYMENU Cloud 活用場面	活用のポイント
導入	1 自動車の海外工場の写真や海外生産の台数のグラフから本時の課題をつかむ。 どうして海外生産の台数が増えてきているのだろうか。	ポジショニングで、自分の立場を明確にする。（1回目） 	
展開	2 日本の立場か現地（外国）の立場のどちらかを選び、課題に対して調べる。 日本の立場 関税がかからない 輸送や時間に費用がかからない 海外の立場 現地の人の意見を聞きやすい 働き口が増える。 技術が伝わり発展する。 これが本時のまとめ。	7  8  資料を発表ノート上で配付し、資料を関係づけて自分の考えを持つことができるようにする。 	○教科書や資料集の見開きのまま配付することで、その中から自分に必要な情報だけを探し、根拠の資料とするようにしている。（以前は、資料をさらに切り取って配付をしていたが、「その資料を使えばいい」という安易な考えの児童もいたため、自分の力で取捨選択できるようにしている。（実態による））

	3（日本の立場、海外の立場のまとめをしたところで）日本が海外生産を進めることに賛成か反対かポジショニングをし、話し合う。 ※途中で、最新の海外生産の台数に関する資料を提示し、さらに話し合う。	学習をととして、自分の考えはどうなったのかを整理する。（2回目） 
ま と め	4 最後に、もう一度ポジショニングを行い、自分の立場を整理したあと、学習の振り返りを行う。 	○この次の学習から、国内生産の強みについて学習をしていく(つながっていく)ので、振り返りをポジショニングのコメントで記録する。

《実践を振り返って》

1つの軸を決めて学習を進めたことで、どのタイミングで自分の考えに変容がうまれたのかを見ることができてよかった。ポジショニングは、その時間だけではなく、日をまたいで記録することができるのがメリットだと感じている。この次の時間からは、国内生産の強み（発展していくために）ということを学習し、続けて同じテーマでポジショニングを行っていった。

本時では、最終的に賛成派に傾いていたが、反対派に変わった児童も出てきた。



社会に限ったことではないが、児童全員の思考が見える化できるので、考えは持っているけど進んで発表できない児童にも声をかけたり、問い返したりでき、児童が主体的に会話しながら実践することができた。